



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ (26年12月号)

平成26年11月25日

国会解散と総選挙が無くてはあわただしい師走ですが、ご都合が合えばご参加・応援をお願い申し上げます(遅出早退自由)。

12月7日(日) 午前9時～11時

高知駅南口土電引込線脇花壇「みんなの庭」、3志士像前プランター、こうち旅広場駐車場西縁植込み(愛称募集中です)などの草取り・清掃を行います。

同日 午後2時～3時 中央公園北側の帯屋町アーケード街で葛岡さんのギターライブとPRチラシ配りを行います。

トピックス

○11月6日(木) 午前、南口土電引込線脇花壇「みんなの庭」の枯れ花、雑草を抜いて、土起こしを行いました。力仕事なので前川種苗の職員さんの手をお借りしました。

○11月9日(日) 午前、整備を終えた「みんなの庭」にパンジー、ビオラ、ノースポール、キンギョソウなど冬～春花200株を植え付けました。更に水仙、フリージア、紫蘭などの球根約300個以上を密植しました…早春には一斉に花を咲かせてくれるでしょう。(右の写真)



こうち旅広場西縁植込みにはヒメシャラを3本植樹しました(右の写真)。彩りを添えるべく十二単、サクラソウ、ミヤコワスレ、ホトトギス、シュウメイギクなど和花も多数植えました。この日やり残した作業の一部を12日に持ち越しました。



○同日 午後2時～3時に 中央公園北側の帯屋町アーケード街で葛岡さんのギターライブとPRチラシ配りを行いました。熱演に足を止めて耳を傾ける方あり、チラシに共感して励まして下さる方ありで、手ごたえ十分でした。

○11月10日(月)、高知駅北口の植樹について高知市と話し合いを始めました。

○高知市新庁舎に県産材をこじゃんと使おう (→次ページに続く)

☆駅南口の土電引込線脇花壇「みんなの庭」と駐車場西縁の植栽などに、まだスペースがございますので苗のご提供・植え付けのお申し出を歓迎いたします(連絡先は下記)。

☆篤志家から花苗の提供やご寄付などが参っております。ご厚志に心より御礼申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata@ak.wakwak.com

公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 代表中田昌志」名義 普通 0709695

高知市新庁舎に 県産材をこじゃんと使おう



(敷地緑化計画は？ 高知市が発表した新庁舎イメージ図。)

「環境に配慮し、自然にやさしい」という基本理念のもと来年1月までに基本設計を取りまとめるといふ高知市の新庁舎には、当然のことながら県産材を大いに使っていただきたいですね。

身近なところに良いお手本があります。「環境に配慮し地域資源を活かしている」として、今年10月公共建築賞・国土交通大臣賞の荣誉に輝いた「梶原町総合庁舎」。そして、高知駅前の「こうち旅広場」も、木材利用推進中央協議会（東京都）主催の平成24年度全国優良施設コンクールで、最優秀に当たる農林水産大臣賞を受賞しました。

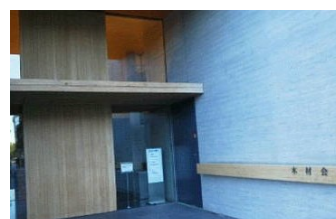
もう一つ、「こうち旅広場」施設への大臣賞授賞式が行われた東京都江東区の「木材会館」（鉄筋コンクリート+一部木材構造の7階建オフィスビル）は、内外装に国産材がふんだんに使われていることが評判になり（合わせて千立方メートル＝木造戸建て住宅50戸相当）、視察者が絶えない建物です（林業・建築関係者、自治体・議会関係者などが年間2千人）。というわけで私も先日見学に行ってみりました。一部を写真でご紹介いたします。



新木場駅前の桜林越しに見えます



木材会館全景
(外構にも木が)



入り口。中は吹抜けになっています



床も天井も板張りで木の香りが
(テラスやエレベーターも板張り)



7階大ホールの見事な梁
(床も板張りです)



畳敷きの集会室もありました

建築費が気になりますが、「坪当たり百ウン十万円で通常と殆ど変わりません」という説明でした。建物設計は木材利用技術開発に力を入れている「日建設計」さん。同社は高知市新庁舎設計JVにも参加しておられます。せっかくの得技を生かせるかどうかは施主次第。

市役所は高知城のお膝元ですから景観も大切。新庁舎の周りに沢山の樹木を配すること、屋上を緑化すること（天守から丸見え）などぜひお考え頂きたいものです。